


平成30年度		
氏名	ないとう ひでかず 内藤 秀一	
生年	昭和32年生	
住所	静岡県三島市	
品目	三島七草（みしまななくさ） ・七草粥に使用されるセリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ ・1月1日から5日までの5日間という極めて短い出荷期間に合わせて栽培 ・平成27年に「しずおか食セレクション」に認定	
技術	緻密な温度管理による春の七草の生育制御と極短期での出荷調整 ・昼夜の寒暖差が大きいため、ビニールトンネル被覆で、日々の気象に合わせて保温と換気を繰り返す緻密な温度管理により生育をコントロール ・7品目すべてを年末年始の出荷に合わせるため、出荷予定量の2倍程度の量を数回に分けて播種・栽培 ・スズナやスズシロ以外の5種は種苗流通がなく、自家採種で確保	
活動状況	・昭和52年に就農し、たくわん大根を主とした栽培から、馬鈴薯やレッドキャベツ、ブロッコリー等にシフト、昭和59年から七草の栽培を開始 ・現在、露地とハウスで七草を生産し、200人を超えるバイト雇用により20万パック（最初は500パック）を出荷するほか、三島馬鈴薯や青首大根による複合経営を実践 ・2年に1回、開催される全国春の七草生産者交流会に毎回参加 ・新型コロナウイルスでほとんど活動はしていません。本来ならば、令和2年7月に七草サミットを三島で開催する予定でしたが、次年度以降に先送りしました。全国の産地の方々と情報交換をするのを楽しみにしていました。 ※七草サミット 全国の出荷数量の9割以上の察知が集まる交友会	
相談に 応じられる 分野・内容	・七草は、産地の性質によって出来、不出来が変わります。その土地に適した作付けをしなければなりません。その中でさまざまな情報を交換しながら、現在に至っています。三島には10カ所以上の全国の産地から視察が過去にはありました。自分たちも同じくらい視察に行っている。	
受賞歴等	・平成23年 「みしまブランド」認定 ・平成27年 「しずおか食セレクション」認定	
主な役職	・平成24年～ 三島函南農業協同組合三島七草部 会長（2軒で持ち回り） ・平成27年～平成28年 三島市認定農業者協議会 会長	
H P	http://hakoneseirokumishimayasai.jp/introduction/2011/11/post-9.html	



